

中央公民館運営審議会会議概要

- | | | |
|---|-----------|-------------------------------|
| 1 | 審議会名 | 平成29年度 第2回 中央公民館運営審議会 |
| 2 | 日時 | 平成29年12月19日(火) 午前10時から午前11時まで |
| 3 | 会場 | 中央公民館 2階 第2練習室 |
| 4 | 出席者 | 片岡宏文会長、永田芳子委員、加々美貴代委員、斉藤達也委員 |
| 5 | 欠席者 | 高木奈津子委員 |
| 6 | 市側出席者 | 竜野館長、西澤次長、堀社会教育指導員 |
| 7 | 公開・非公開等の別 | 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 |
| 8 | 傍聴者 | 0人 記者 0人 |
| 9 | 会議概要作成年月日 | 平成29年12月19日 |

協議事項等

- | | |
|---|---|
| 1 | あいさつ (会長) |
| 2 | 協議 (進行: 会長) |
| | (1) 上田市公民館運営審議会について |
| | ・ 現委員の中に、地域固有の課題が協議できる場が減るという懸念がある。 |
| | ・ 統合することによる効率性の検証と具体的組織等について調査検討が必要。 |
| | ことから、当面現行どおり各館で設置し、「引き続き検討」していくことについて説明。 |
| | 特にご意見はなく、承認いただいた。 |
| | (2) 諮問案件について |
| | 「信州型コミュニティスクールと公民館の役割」について |
| | ア 前回会議での発言、委員から寄せられた意見を元に事務局でまとめた「答申(案)」を説明。 |
| | イ 協議 |
| | ・ 学校と地域の団体との線の間を地域という面に関係にしていくことが大切。 |
| | ・ 人材を学校とどう共有化していくかが必要。提案のように「人材バンク」の作成整理もその一つ。 |
| | ・ 学校からも「学校だより」の地域に回覧し情報共有をしたいという思いはあるが、作業に手間がかかるので、すぐには難しい。悩ましいところ。 |
| | ウ 答申 |
| | (ア) 意見が出尽くしたところで、ほぼ原案どおり承認された。 |
| | (イ) 本日付で「答申」ということで確認された。 |
| | (ウ) 答申中、「公民館の役割」については以下のとおりであった。 |
| | ・ 学校と地域の橋渡し役として、学校から要望のあった外部講師を活動団体の中から紹介するコーディネーターの役割。 |
| | ・ 地域素材、人材など、地域のひと・もの・ことの情報提供とその取りまとめを行い、いつでも学校からの要請に応えられるよう館内で共有化を図る。 |
| | ・ 学校支援ボランティアの募集を、公民館報等の地域回覧等で行う。 |
| | ・ 地域人材の発掘と人材バンクの作成(中央地区に特化したもの)を行う。 |
| | ・ 技術を持った方が公民館利用者団体の中にもいる。利用者団体との意見交換会等で呼びかける。 |
| | (エ) 今後の対応について、学校の役割等については、管内小中学校と共有し、地域の役割については「公民館だより」などで周知し、公民館の役割についてはできることから実施していくことを了解いただいた。 |
| 3 | 閉会 |